

元自民党政務調査会長・現衆議院議員

# 高市早苗

●収録日時：2004年（元沖縄・北方対策担当大臣）



数々の要職を務めるも、2003年の衆院選で馬淵澄夫氏に敗れ「浪人中」だった当時の高市氏に、政治家とは何か、国家観とは何か、伺いました。

■光永 昨年の衆議院選挙では残念ながら（落選）。みんなびつくりしました。ああいう形で負けるとは、僕らは夢にも想像していませんでした。

■高市 残念な事ではありませんが、いっぱい働き、言いたい事を言えたので悔いはありません。選挙の中盤からすごく苦戦しました。党本部の世論調査や土日のマスコミ各社の世論調査では、かなりリードしていたようなのですが、真ん中の日曜日に、手の打ちようのない数の怪文書が出回りました。個別訪問で中傷しながら候補の投票を促す落選運動も行われました。

■光永 与党間の連携が、うまくいかなかったのでは？

■高市 確かに奈良県は4つの選挙区がありますが、私だけ公明党さんの推薦をいただいていません。連携がうまくいっていません。自分自身の力

不足で仕方がないと感じています。ドンと受け止めて、今度登場する時は、バージョンアップした高市早苗として頑張りたいと思います。

## 治安こそ日本の財産

■光永 ずっと小泉政権を支えておりましたが、今の立場で小泉政権の支持できるかどうか、できないうところについては？

■高市 評価できる部分では、第一に治安対策に力を入れた取り組みを始めているところ。治安というのは日本の財産です。外国からの投資を5年間で2倍にしようとする取り組みもありますが、治安の悪い国ではお金も集まりません。

次に規制緩和です。国が守るべきもの、特に国民の命・財産・安全を守る規制は大事ですから、手放して良いわけではありません

ん。しかしビジネスチャンスにつながるような規制緩和を、非常に良いピッチで進めて来られた点は評価しています。

## 借り換え補償制度で中小企業を救った通産省政務次官時代

■高市 そして官邸主導で目に見える形のプロジェクトを進めて来られた。例えば観光立国です。これまで観光といえば、旧運輸省、国交省の仕事でしたが、経済産業省のアイデアなら産業観光、農水省は農村滞在型グリーンツーリズムなど、一緒に取り組んでい

ます。男女共同参画型社会なども幅広く人を集めて行っています。農山村の振興など、色々な役所を集めてやっている点は評価できます。

一方評価できない点としては、資産レベルの手の打ち方が非常に遅かった事です。不良債権を本

気で処理しようと思ったら、もっと早い段階で資産・デフレ対策を重点的に行って、早くに不良債権処理ができました。中小企業の資金繰りも、またも土地担保が主流ですから、持っている資産が目減りしたら、お金が借りられないのです。

■光永 いよいよ自衛隊がイラクに派兵されますが？

■高市 もっと早い段階なら、日本の国際貢献の仕方として他の選択肢もあったと思います。今の段階では、派遣やむなしの段階に考えています。

■光永 小泉政権下の政策の中で、郵政民営化については？

■高市 不便な村ほど、郵便局の採算が取れない事も考えられます。郵便物を全国

一律の値段で届けるサービスは続けようとしても、いち金融機関としての郵便局が、過疎の地域で成り立つていくかどうか。サービスを期待する人に応えられる形態を作れるかが大事なポイント

ントです。無傷の金融機関が出現した時、他の金融機関に与える影響で競争条件がどのようになっているか、などのテーマは詰めないといけないでしょう。

■光永 経済産業副大臣を2度も務められましたが、どのような実績がありますか？

■高市 正確には解散直前までは経済産業副大臣で、その前は通産省だった頃に政務次官として務めていました。中小企業金融の借り換え補償制度では実績が上げられたと思っています。例えば借金が600万円あったとして、1年間に返すとすると月に50万円ずつ返さなければならぬのですが、今はデフレで売上げが下がっている。借り換えし、要件変更して5年間で返せるなら、月10万円ずつで良いわけです。

■光永 民族運動をしている仲間にも、高市さんのファンは多いようです。理由は「健気さだ」と。

### プロフィール

## 高市 早苗

たかいち さなえ



1961年奈良県生まれ。奈良県立畝傍高校卒業後、神戸大学経営学部経営学科に入学。大学卒業後は第5期松下政経塾に入塾。1987年、アメリカへ渡り、パトリシア・シュローダー氏の下で米国連邦議会Congressional Fellow（金融・ビジネス）として勤務した。2003年の衆院選で民主党の馬淵澄夫氏に敗れたものの、2005年に郵政民営化法案に反対して自民党を離党した。滝実氏を破って国政に復帰。2006年には第1次安倍内閣で内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策・科学技術政策・少子化対策・男女共同参画・食品安全）に就任した。2012年、自民党政務調査会長を務める。同ポストに女性が就任するのは初。近畿大学経済学部教授（産業政策論・中小企業論）。現、衆議院議員